

氏名 渡部哲也

## 主論文審査の要旨

### 《本文》

本学位請求論文（以下、本論文という）は、固着性二枚貝カリガネエガイに寄生するカクレガニ科のカニ類ヒラピンノの寄生生態を野外調査と室内実験によって明らかにしたものである。本論文の構成は、序論（カクレガニ科カニ類とその研究史）、第1章（ヒラピンノの生活史）、第2章（宿主カリガネエガイの生活史とヒラピンノの寄生関係）、第3章（総合討論）で、カクレガニ科ヒラピンノと宿主カリガネエガイの生活史の相互関係が、豊富なデータを元にまとめられている。カクレガニ科カニ類の寄生は昔から多くの人々の興味を引いていたが、宿主内で生活し寄生個体の状態を外部から観察できないなどの理由で、ほとんど研究が進んでいなかった。本研究は、定期的な野外採集と採集個体の解剖等による精査、実験室内での個別飼育と脱皮殻の観察、いくつかの操作実験などによって、ヒラピンノの生活史を形態変化と宿主利用を中心に明らかにし、カクレガニ科カニ類の研究に新たな道を切り開いた画期的な研究である。特に、ヒラピンノが宿主に寄生して寄生形態に変態した後も、条件によっては再度羽毛状の遊泳毛を有する遊泳形態に戻って宿主を抜け出すことや、間接とはいえ宿主を巡る激しい種内競争が起きていることを示したことは、世界初の快挙である。

既に、研究の一部は国際学会や国際誌で発表され、国内外から高い評価を受けている。また、博士論文には含まれていないが、論文提出者はカニ類の分類に関して高い能力を有しており、関連した研究成果を学会や学会誌で多数発表している。さらに、ヒラピンノの形態の左右性とカリガネエガイにおける寄生部位が深く関連していることを採餌生態の面から明らかにしたが、これについては現在国際誌へ投稿準備中である。

審査委員会は、本論文の内容を精査すると共に、論文提出者の業績も鑑みて、本論文の内容を学位授与に値するものと認めた。

|      |                 |    |      |
|------|-----------------|----|------|
| 審査委員 | 理学専攻生命科学講座担当教授  | 氏名 | 逸見泰久 |
| 審査委員 | 理学専攻生命科学講座担当教授  | 氏名 | 内野明德 |
| 審査委員 | 理学専攻生命科学講座担当教授  | 氏名 | 滝尾 進 |
| 審査委員 | 理学専攻生命科学講座担当准教授 | 氏名 | 嶋永元裕 |